

青森県立郷土館整備検討会議

(第1回)

【配布資料一覧】

資料番号	資料名
1	委員一覧
2	第1回出席者名簿
3	青森県立郷土館整備検討会議設置要綱
4	検討依頼書
5	第1回会議資料
6	青森県立郷土館報 (令和7年度版)

(その他の資料)

◇意見等記入票

青森県教育委員会

青森県立郷土館整備検討会議 委員一覧

	氏 名	役 職
博物館	工藤 清泰	青森県立郷土館協議会 議長
	澁谷 悠子	高岡の森弘前藩歴史館 学芸員
	葉山 茂	国立大学法人弘前大学 人文社会科学部 准教授
	半田 昌之	公益財団法人日本博物館協会 専務理事
	山田 泰子	八戸市美術館 美術専門監
日本文化 地方文化	川守田 礼子	学校法人八戸工業大学 感性デザイン学部 教授
観光・国際	高坂 幹	公立大学法人青森公立大学 理事長
社会教育	西川 智香子	特定非営利活動法人コミュニサーあ おもり 理事長
デジタル アート	佐々木 遊	asobis 代表
報道機関 メディア	小山田 文泰	青森放送株式会社 役員待遇報道局長
まちづくり	竹中 恵理	青森県青年国際交流機構 会長

(敬称略、順不同)

青森県立郷土館整備検討会議第 1 回出席者名簿

	氏 名	役 職
博物館	工藤 清泰	青森県立郷土館協議会 議長
	澁谷 悠子	高岡の森弘前藩歴史館 学芸員
	半田 昌之	公益財団法人日本博物館協会 専務理事
	山田 泰子	八戸市美術館 美術専門監
日本文化 地方文化	川守田 礼子	学校法人八戸工業大学 感性デザイン学部 教授
観光・国際	高坂 幹	公立大学法人青森公立大学 理事長
社会教育	西川 智香子	特定非営利活動法人コミュニサー あおもり 理事長
デジタル アート	佐々木 遊	asobis 代表
報道機関 メディア	小山田 文泰	青森放送株式会社 役員待遇報道局長
まちづくり	竹中 恵理	青森県青年国際交流機構 会長

(敬称略、順不同)

青森県立郷土館整備検討会議設置要綱

(趣旨)

第1 青森県立郷土館の整備に係る基本計画策定に向けて、今後の整備方針等を整理、検討するため、青森県立郷土館整備検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2 検討会議は、青森県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が検討を依頼する次の事項について調査検討し、教育長に報告する。

- (1) これからの時代に求められる県立博物館について
- (2) 新たな県立博物館の整備場所候補地について
- (3) その他教育長が必要と認める事項について

(検討会議)

第3 検討会議は、11人以内の委員で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 教育関係者
- (3) 博物館関係者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、教育長が必要と認める者

3 検討会議に、議長を1人置き、委員の互選により定める。

4 検討会議は、教育長が招集し、議長は会議を主宰する。

5 議長が不在のとき、又は欠けたときは、あらかじめ議長が指名する委員がその職務を代理する。

6 議長は、専門的な見地から意見や情報を得るため、必要があるときは、検討会議にアドバイザーとして委員以外の者の出席を求めることができる。

(任期)

第4 委員の任期は、委嘱した日から令和8年3月31日までとする。

(庶務)

第5 検討会議の庶務は、青森県教育庁文化財保護課において処理する。

(その他)

第6 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年4月18日から施行する。

青森県立郷土館整備検討会議議長 殿

青森県教育委員会教育長

青森県立郷土館の整備について

このことに関する次の事項について、理由を添えて検討を依頼します。

- 1 これからの時代に求められる県立博物館について
- 2 新たな県立博物館の整備場所候補地について

(別紙)

理由書

県教育委員会では、昭和48年に「ふるさとの 過去を語り 現在を考え 未来を 展望する」総合博物館として県立郷土館を設置し、長きにわたり、県民が郷土に誇りをもち、夢や希望を感じられるよう、郷土に根ざした活動を行ってきました。

このような活動を行うに当たって重要となる施設について、令和元年度に実施した老朽化対策に向けた調査により、耐震性能不足が判明したことから、既存施設の耐震補強を含む長寿命化を基本として、令和4年度から令和6年度にかけて検討を進めてきました。

この検討において、ハザードマップにより津波浸水深約4メートルの区域となったことなどを踏まえ、改めて整備方針を検討することとしたものです。

このほか、令和5年4月施行の博物館法の一部を改正する法律では、

- ① 博物館法の目的について、社会教育法に加えて文化芸術基本法の精神に基づくことを追加すること
- ② 博物館の事業に博物館資料のデジタル・アーカイブ化し、公開することを追加すること
- ③ 他の博物館等との連携に努めること、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動の推進を図り、地域の活力の向上に寄与するよう努めること

とされたところです。

また、本県の行政運営の基本方針である「青森県基本計画」では、「2040年のめざす姿」として「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」を掲げ、その実現のため、教育施策の基本的方向性を明確にした青森県教育施策の大綱を策定し、「本県のめざす教育」に

- ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実
- 生涯学習・社会教育の充実

を設定しているところです。

このほか、青森県教育委員会では、本県教育の更なる充実・発展に向けて青森県教育振興基本計画を策定し、県民、特にこどもたちがふるさと青森の歴史や自然、文化への理解を深め、郷土に誇りを持つことができる取組を推進していくこととしています。

そこで、これらを踏まえた県立郷土館の整備に向け、次の事項について検討をお願いするものです。

1 これからの時代に求められる県立博物館について

社会の変化が激しく、将来を見通すことが困難な状況にあっても、子どもたちがふるさと青森に愛着と誇りを持ちながら自身の未来を切り拓いていくことができるよう、主体的に学び続けることができる場として、これまで以上に子どもたちを含む全世代が進んで活用できる博物館を整備する必要があります。

これまで実施してきた博物館の基本的な活動（収集・収蔵・展示・研究等）を含め、博物館に求められる役割は、近年ますます拡大し、また多様化・高度化しています。県民の生活により身近で欠かせない存在となるよう、県立の総合博物館としてどのような役割を果たしていくべきか検討する必要があります。

2 新たな県立博物館の整備場所候補地について

現在地は、令和3年5月に公表された青森市ハザードマップにより、津波浸水区域となり、その深さは約4メートルとされております。

収蔵資料は県民の財産であり、その保存は、博物館機能の根幹を担うものであることから、その整備場所は非常に重要です。

また、博物館法において、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動の推進を図り、地域の活力の向上に寄与するよう努めることとされたことから、これらの観点からも、こういった場所に整備することが望ましいか検討する必要があります。

青森県立郷土館整備検討会議 第 1 回会議資料

青森県教育庁文化財保護課

令和 7 年 5 月 2 6 日

1. 検討会議のポイント

本検討会議では、

「県立郷土館の整備に向けた基本的な考え方」

について意見交換をしていただきます。

回次ごとに提示する資料に対して、以下の点を念頭に意見をいただきたいと思っております。

- ・ 県立郷土館は**総合博物館**としてどのような**役割**を果たしていくべきか
- ・ どういった**場所**に整備することが望ましいか

※総合博物館：人文科学及び自然科学の両分野にわたる資料を、総合的な立場から扱う博物館

2. 青森県立郷土館整備検討会議スケジュール（予定）

第1回 5月26日

第2回 6月頃

第3回 7月頃

第4回 9月頃

第5回 1月頃

第6回 2月頃

議 題

- ・ 博物館法改正の状況について
- ・ 県立郷土館の概要、課題について
- ・ 県内、東北各県の博物館の状況
- ・ 先進事例等の紹介
- ・ 県立博物館の整備方針の検討
- ・ 整備場所候補地の基本的な考え方の検討

議 題

- ・ 県立博物館の整備方針の検討
- ・ 整備場所候補地の基本的な考え方の検討

議 題

- ・ 県立博物館の整備方針の検討
- ・ 整備場所候補地の基本的な考え方の検討

中間報告

議 題

- ・ 旧館（国の登録有形文化財）の保存等の検討
- ・ 整備場所候補地の基本的な考え方の検討

議 題

- ・ 最終報告の検討

最終報告

3. 博物館法の内容について

- ・「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関

- ・令和5年4月1日に施行された法改正の目的及び博物館事業等の見直し

- (1) 文化芸術基本法に基づくことを追加

- (2) 博物館資料のデジタルアーカイブ化を追加

- (3) 他の博物館との連携、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光など地域の活力向上への寄与を努力義務化

4. 博物館法改正の主な内容

- 博物館は、事業の充実を図るため、他の博物館等との間において、資料の相互貸借、職員の交流、刊行物及び情報の交換その他の活動を通じ、相互に連携を図りながら協力するよう努める。
- 博物館は、事業の成果を活用するとともに、地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力し、当該博物館が所在する地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光、その他の活動の推進を図り、もって地域の活力の向上に寄与するよう努める。

5. 県立郷土館の概要①

- ・ 考古、自然、歴史、民俗分野からなる県内唯一の総合博物館
昭和48年9月開館（昭和47年建造）
※ 旧館（国の登録有形文化財）については、昭和6年建造の
旧青森銀行本店
- ・ 収蔵資料数は、約10万点
- ・ 耐震性能不足により令和2年10月から休館。
- ・ 令和3年5月公表のハザードマップにおいて、現在地が津波浸水深約4メートルの区域とされた。
- ・ 令和5年度に長寿命化改修に係る基本設計を作成、令和6年度に改めて整備方針を検討することとしたため、実施設計中止。

5. 県立郷土館の概要②

施設の概要

所在	青森市本町2丁目8-14
竣工年	昭和47年
利用者数	62,009人（令和元年度）
延床面積	7,606.83㎡ うち1,123.4㎡（旧館分）
うち展示面積	3,001㎡ うち487㎡（旧館分）
うち収蔵面積	853㎡
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階、塔屋2階建て ※旧館は2階建て
交通機関	JR青森駅から徒歩20分 市営バス停から徒歩1分 青森駅からタクシーで10分 駐車場（乗用車26台、身障者用3台）
青森市の人口	約261,000人（令和7年4月現在）

位置図



6. 県立郷土館の活動状況（令和元年度）【休館前】

事業	事業期間	入場者数等
特別展示（6回）		15,113人
企画展「新収蔵2019」	4/27～7/1	4,364人
「森のささやきが聞こえますか 倉本聰の仕事と点描画展【指定管理者事業】」	7/13～8/25	4,827人
特別展「ひらく・つくる・みのるー青森の湿地と稲作のはなしー」	9/12～11/4	2,381人
第87回東奥児童美術展【指定管理者事業】	11/15～11/24	1,422人
企画展「縄文遺跡群と県立郷土館一発掘調査の軌跡ー」	12/7～1/30	1,710人
第9回東奥児童書道展【指定管理者事業】	2/14～2/24	409人
連携展（9回）		30,508人
七戸町立鷹山宇一記念美術館との連携展 馬との暮らし	4/1～4/14	125人
青森県総合社会教育センターとの連携展 懐かしの青森風景（1）	4/1～6/28	5,367人
青森県総合社会教育センターとの連携展 植物を楽しむ	7/1～8/30	3,359人
青森県総合社会教育センターとの連携展 懐かしの青森風景（2）	3/2～3/31	486人
青森県営浅虫水族館との連携展 トンボとあそぼう	6/1～7/28	5,334人
青森県営浅虫水族館との連携展 さかなの缶詰博覧会 戦前の缶詰ラベル展	7/30～9/29	8,759人
十和田ビジターセンターとの連携展 湖岸で見られる十和田火山の岩石	9/12～11/3	6,117人
一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社との連携展 第2回あおもり文化とアート展「こけしのいる風景」	9/25～9/29	436人
常盤ふるさと資料館あすかとの連携展 花田陽悟版画展	11/8～12/8	525人

事業	事業回数等	参加者数等
教育普及		
土曜セミナー	計36回	1,421人
講師派遣事業（講演会や学習会等に派遣）	15件	-
移動博物館	10回	753人
自然観察会（夏、秋に各1回）	計2日間	50人
あおもり街かど探偵団（青森市内の歴史を探る街歩きツアー）	1日	19人
出前授業（県内小・中・高・特支）	計77回	3,865人
ミュージアム探検隊・郷土館クイズラリー	計107回	1,438人
夏・冬休みこどものくに（夏・冬休み中に体験やもの作りを中心としたイベント）	計3日間	191人
スチューデント・キュレーター（大型クルーズ客船の外国人に対して、高校生による当館への誘客・歓迎活動）	計2日間	-
授業に役立つ博物館研修（学校教員に対して）	1日	7人
博物館実習生の受入	5日間	受入9人

7. 県立郷土館管理の指定文化財（国指定等文化財）

有形文化財 重要文化財【考古資料】

名称	員数
青森県宇鉄遺跡出土品	556箇
青森県大石平遺跡出土品	一括(198箇)

民俗文化財 重要有形民俗文化財

名称	員数
泊のまるきぶね	1隻
津軽・南部のさしこ着物	786点

登録文化財 登録有形文化財（登録）

名称	員数
青森県立郷土館（旧青森銀行本店）	1棟

7. 県立郷土館管理の指定文化財（県指定文化財）

有形文化財（県重宝）

【彫刻】 名 称	員 数	【工芸品】 名 称	員 数
木造舞楽面・木造能面	10面	日本刀 無銘（伝備中古青江貞次作）	1口
木造舞楽面・龍頭	16点	鰐口 正平廿一年三月三日銘	1口
【考古資料】 名 称	員 数	【考古資料】 名 称	員 数
蕨手刀	1口	縄文式注口土器	1個
縄文式尖底土器	1個	漆塗壺形土器	1個
亀ヶ岡式壺形彩色土器	1個	勾玉	1個
亀ヶ岡式壺形羽状縄文土器	1個	亀ヶ岡遺跡出土品（風韻堂）	60点
亀ヶ岡式浅鉢形台付土器	1個	縄文土器（狩猟文土器）	1点
亀ヶ岡式壺形丹漆塗土器	1個	細隆起線文尖底深鉢形土器	1点
縄文式土偶	1個	大平山元Ⅰ遺跡出土品	81点
【歴史資料（史料）】 名 称	員 数		
陸奥国津軽郡之絵図（正保国絵図写）	1鋪		
菅江真澄筆「外浜奇勝」	1冊		

8. 県立郷土館の課題①

・ 収蔵に関する課題

- (1) 建物が臨海部にあり、海からの風や気温変化の影響を直接受け、夏季と冬季は温湿度変動が激しいため、館内、特に老朽化した収蔵庫の適切な温湿度環境を保持することが難しい。
- (2) 施設の老朽化に伴い、建物全体の気密性が低下しているため、資料保存上、有害となる様々な種類の害虫が侵入しやすい状況となっている。
- (3) 従来、文化財を傷める害虫については、ガスにより殺虫処理していたが、環境への影響が問題視され、ガスの生産が中止になったことから、全国的に低温・低酸素濃度、二酸化炭素等により殺虫処理のできる収蔵設備の必要性が増しているが、当館にはそのような設備がない。

9. 県立郷土館の課題②

・ 展示に関する課題

各展示室の展示什器類が大型かつ特定資料向けの形態で固定されているため、大規模な展示替えや定期的な展示替えが困難となっている。

例として、2階の自然展示室には、床面から天井へ向けて巨大な柱状及び板状の展示什器があり、その什器を複数本直立させて固定しているため、大がかりな展示替えができない。



9. 県立郷土館の課題②

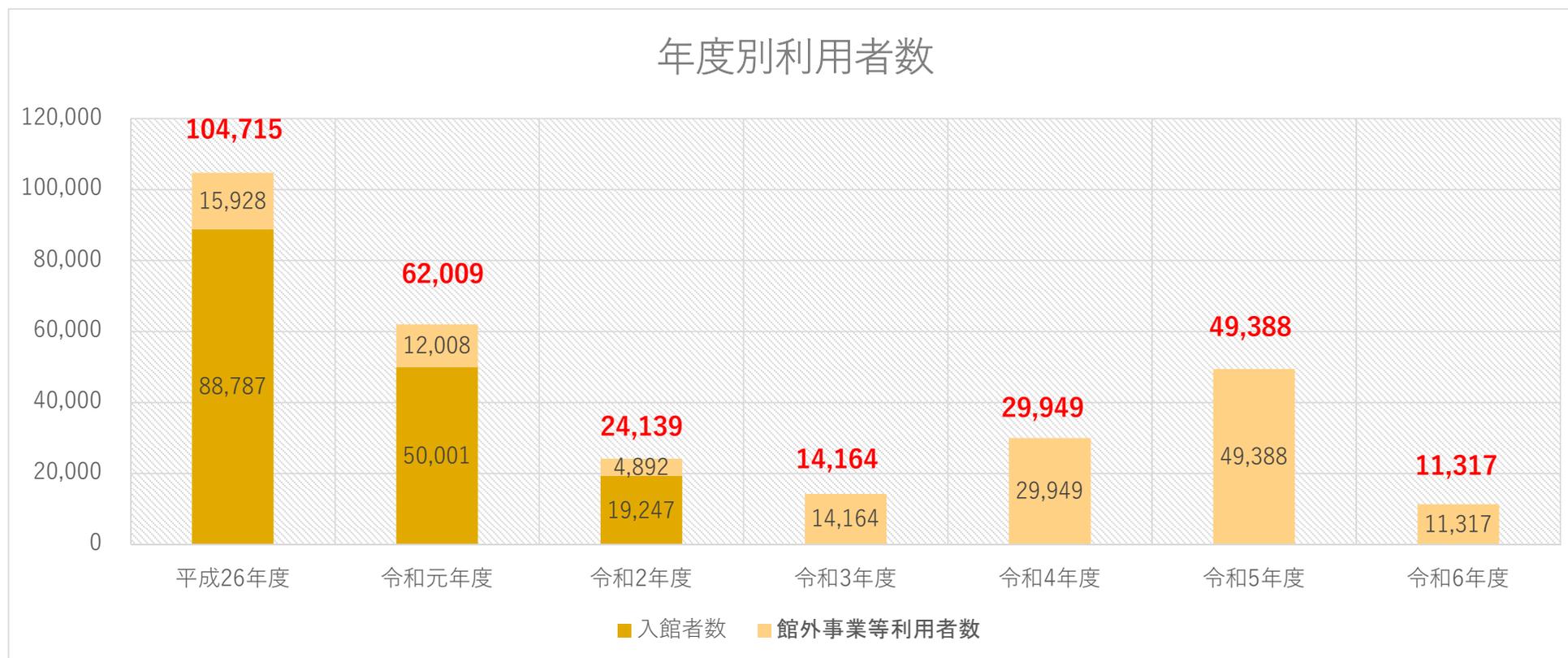
・ 展示に関する課題

3階の民俗展示室は、展示室全体が、各ブース毎に巨大な木枠で囲われていることから、展示する資料の大きさや数量が限られるため、色々な資料が展示できず、展示内容が固定化している。

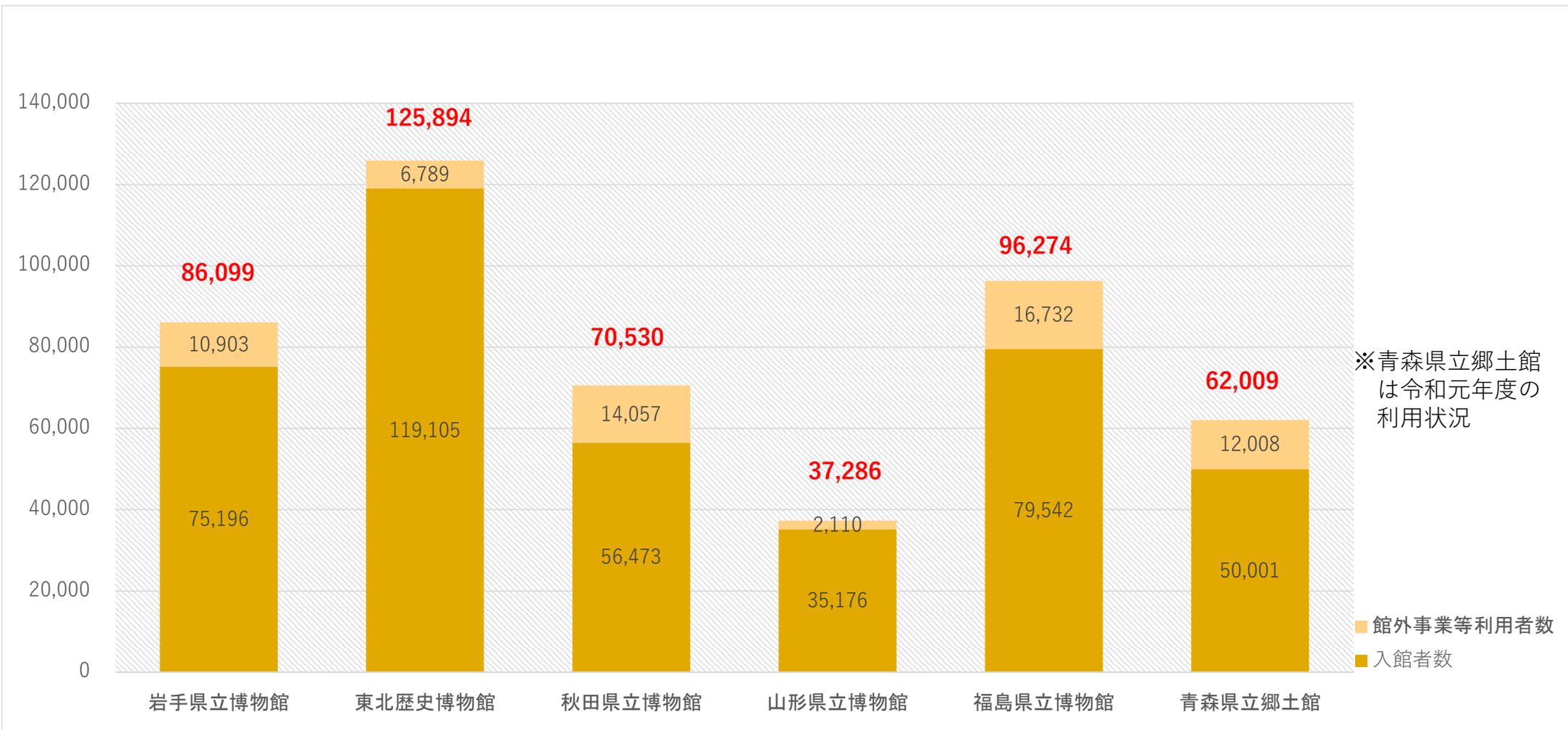


10. 県立郷土館の利用状況

- ・平成26年度から利用者数は下降傾向。
- ・令和2年10月から休館しているため、令和3年度から入館者数は0だが、サテライト展示や連携展など、館外活動を積極的に実施している。



11. (参考) 東北各県の県立博物館の利用状況(令和5年度)



博物館設置市の人口
(R7.4現在)

盛岡市人口
約279,000人

多賀城市人口
約61,000人

秋田市人口
約293,000人

山形市人口
約238,000人

会津若松市人口
約110,000人

青森市人口
約261,000人

12. (参考) 県内の主な博物館について

○ 登録博物館 4館

国と独立法人を除く法人で、館長、学芸員の必置、年間150日以上の開館等の要件を満たし、都道府県教委又は指定都市教委の登録を受けた館。

No	分野別	館名	所在地
1	総合	青森県立郷土館	青森市
2	歴史	弘前市立博物館	弘前市
3	歴史	高岡の森弘前藩歴史館	弘前市
4	歴史・民俗	八戸市博物館	八戸市

○ 指定施設 (旧博物館相当施設) 3館

学芸員相当職員の必置、年間100日以上の開館等の要件を満たし、国・都道府県・指定都市教委が博物館事業に類する事業を行う施設として指定した館。

No	分野別	館名	所在地
1	美術	青森県立美術館	青森市
2	美術	弘前れんが倉庫美術館	弘前市
3	美術	八戸市美術館	八戸市

○ 博物館類似施設 78館 (令和3年度社会教育調査による)

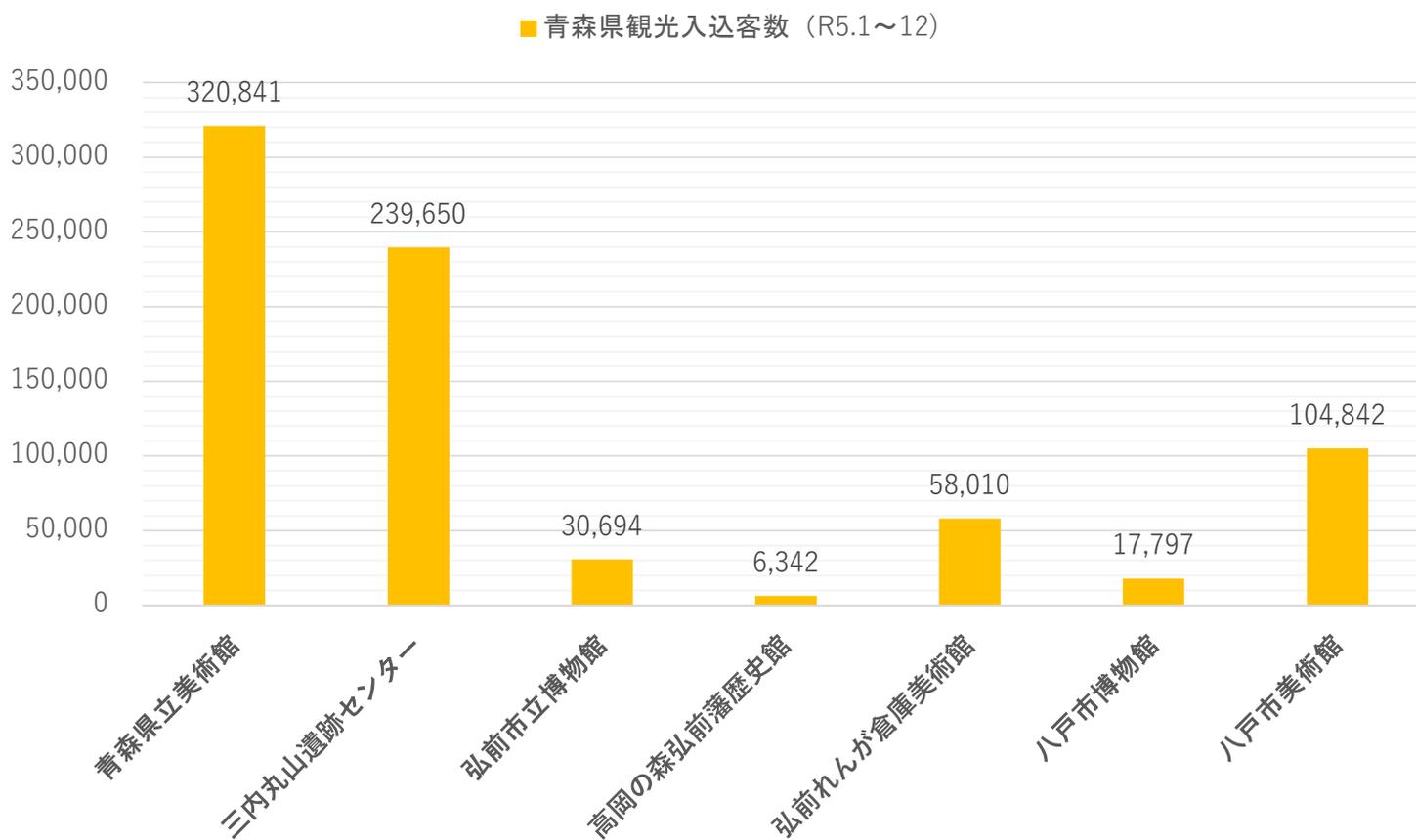
国の調査において、登録・指定施設以外で把握されている館

(さんまるミュージアム (三内丸山遺跡センター) 等) P15

13. (参考) 県内の主な博物館について

・ 県内においては、美術系の博物館の来館者数が多い傾向

青森県観光入込客数 (R5.1~12)



- 青森市
 - 青森県立郷土館
 - 青森県立美術館
 - 三内丸山遺跡センター
- 弘前市
 - 弘前市立博物館
 - 高岡の森弘前藩歴史館
 - 弘前れんが倉庫美術館
- 八戸市
 - 八戸市博物館
 - 八戸市美術館

14. 他館事例の紹介／石川県立歴史博物館（歴史・民俗）

施設の概要

所在地	〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1	竣工年	昭和43年
延床面積	7,746.28㎡	利用者数	入館者数 令和5年度 59,984人
	うち展示面積 2,223㎡ うち収蔵面積 1,578㎡	最寄りの 交通機関	広坂・21世紀美術館下車徒歩8分、 JR金沢駅からタクシーで約10～ 15分 駐車場45台
付帯施設	特になし	金沢市の 人口	約454,000人（令和7年4月現在）



祭礼体感シアター

○コンセプト

（1）誰もが楽しく学べる博物館（2）ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館（3）人に優しい博物館

○特徴

徴

同館がある「本多の森公園」は金沢城や兼六園に隣接し金沢21世紀美術館や複数の美術館施設が集まるエリアであるため普段から観光客が集まりやすく、隣接する施設と連携した企画展を開催している。**常設展では前方180度壁面に祭礼映像を投影し体感できるシアターがある。**

○課題

題

戦前の建物を活用しているため、建物や空調設備が老朽化しているが、重要文化財であるため増築・改造が困難である。また、映像展示に係る各種機器の更新経費がかかる。

14. 他館事例の紹介／岐阜県博物館（総合）

施設の概要

所在地	岐阜県関市小屋名1989 (岐阜百年公園内)	竣工年	昭和50年
延床面積	5,187㎡	利用者数	入館者数 令和5年度 50,423人
	うち展示面積 2,879㎡ うち収蔵面積 1,379㎡	最寄りの 交通機関	JR岐阜駅から岐阜バス・小屋名 バス停下車徒歩15分 JR関駅から関シティバス・百年 公園前下車徒歩5分 駐車場299台
付帯施設	ミュージアムショップ 自然観察遊歩道・移築 民家等	関市 の人口	約84,000人(令和7年4月現在)



多角形や曲面を多用した展示

○コンセプト

「岐阜にゆかりのある自然・人文の諸資料を収集・保管・展示し、調査研究を通じて郷土の姿を紹介する」ことを目指している。

○特徴

徴 県民主体の企画展示を開催するための専用施設「マイ・ミュージアム棟」を新たに設置し、利用者と博物館との双方向的な取り組みに力を入れている。

○課題

題 開館50周年を目前に控え、施設設備の老朽化が著しく、特に展示活動に支障を来している。多角形や曲面を多用した有機的な建築デザインが印象的である反面、実用性との葛藤を生んでいる。

14. 他館事例の紹介／福井県立歴史博物館（歴史）

施設の概要

所在地	〒910-0016 福井市大宮2-19-15	竣工年	昭和59年
延床面積	9,044㎡	利用者数	入館者数 令和5年度 56,403人
	うち展示面積 2,500㎡ うち収蔵面積 1,382㎡	最寄りの交通機関	福井駅西口広場バスターミナルから京福バス「大和田大学病院線」 県立歴史博物館前下車 えちぜん鉄道：『三国芦原線』西別院駅下車 徒歩10分 駐車場60台
付帯施設	カフェ	福井市の人口	約253,000人（令和7年3月現在）



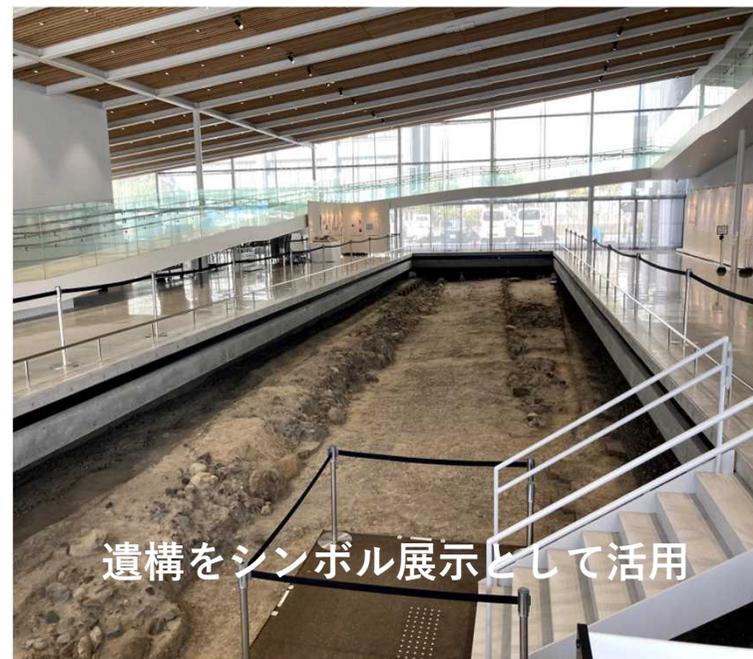
ジャカード機
（機織り機）

- コンセプト 福井の歴史をわかりやすく解説する
（以前は「ふくいのものどものづくり」であった。）
- 特徴 徴 圧縮空気による展示ケースの移動システム、展示ケース内の規格化されたパネル、小規模なテーマ展示の連続という構成で、展示替えがしやすい作りである。
- 課題 題 企画展示スペースが600㎡と狭いため、開催できない全国巡回展がある（拡張の構想あり）。
収蔵スペースは1984年の開館時のまま。展示ケース移動システムの維持に経費がかかる。

14. 他館事例の紹介／静岡市歴史博物館（歴史）

施設の概要

所在地	静岡市葵区追手町4-16	竣工年	令和4年
延床面積	4,886㎡	利用者数	入館者数 令和5年度 83,294人
	うち展示面積 1,001㎡ うち収蔵面積 561㎡	最寄りの交通機関	JR静岡駅から徒歩15分 静岡鉄道新静岡駅から徒歩8分 しずてつジャストラインバス県庁・静岡市役所葵区役所徒歩6分 駐車場なし
付帯施設	カフェ・ミュージアム ショップ	静岡市の人口	約668,000人（令和7年4月現在）



○コンセプト

「静岡の過去を学び、今を知る。そして、未来を考える」をコンセプトに掲げ、市の歴史的文化的な魅力を発信するとともに、**市民の学習、観光、まちあるきの拠点**となる博物館を目指している。

○特徴

戦国時代末期の遺構をシンボリックに展示することで、道の遺構と外とのつながり、遺構から分かる歴史の積み重なりを表現している。テーマ性を重視した展示手法により歴史の魅力を理解できる。

○課題

大規模な企画展示の開催に際しては、常設の基本展示室を撤去しなくてはならないため、常設の展示を観覧できない時期がある。

14. 他館事例の紹介／豊田市博物館（総合）

施設の概要

所在地	愛知県豊田市小坂本町5丁目80	竣工年	令和6年
面積	延床面積 約7,800㎡	利用者数	入館者数 未公表（集計中）
	うち展示面積 1,380㎡ うち収蔵面積 1,171㎡	最寄りの交通機関	名鉄三河線豊田市駅・愛知環状鉄道新豊田駅から徒歩15分 名鉄三河線上挙母駅・愛知環状線新上挙母駅から徒歩25分 駐車場150台
付帯施設	レストラン・カフェ・ ミュージアムショップ 観察池・移築民家等	豊田市の人口	約415,000人（令和7年4月現在）



○コンセプト 「みんなでつくりつづける博物館」。市民をはじめとする来館者、地域の企業や学校など多様な主体が関わり、展示やイベントを通じて日々アップデートされる博物館を目指している。

○特徴 分野横断的な総合展示（テーマ展示）や、現在に基軸を置く展示手法が、観覧者と資料とのダイナミックで創造的な関係性を生み出しており、好評である。

○課題 豊田市美術館の隣接地に設置したことで各種連携事業の実施はあるものの、共同での展覧会は実施できていない。

14. 他館事例の紹介／北名古屋市歴史民俗資料館（歴史・民俗）

施設の概要

所在地	愛知県北名古屋市熊之庄御榊53	竣工年	平成2年
面積	延床面積 1,311㎡	利用者数	入館者数 令和5年度 約40,000人
	うち展示面積 517㎡ うち収蔵面積 279㎡	最寄りの交通機関	名鉄名古屋駅から犬山線西春駅 下車徒歩25分 西春駅から市内循環「きたバス」市役所東庁舎下車 駐車場23台
付帯施設	図書館との複合施設	北名古屋市の人口	約86,000人（令和7年4月現在）



昭和時代の生活を再現した展示

- コンセプト 昭和時代の日常生活をテーマに、昭和30～50年代を中心とした生活用品を展示し、地域の歴史や文化を伝えるとともに、回想法により**高齢者の福祉に貢献**することを目的としている。
- 特徴 昭和中期以降の庶民生活資料にスポットを当てた先駆的な資料館として全国的に知られ、観覧者が多い。**博福連携**の先進的な取組が、高く評価されている。
- 課題 学芸員が館長を含め3名と少なく、運営上の負担が大きい。
入館料の徴収が課題となり、本年10月から有料化されることになった。

15. 新しい郷土館のめざす姿

ふるさとをつなぎ未来をつくるミュージアム

見る・知る・学ぶ “静” と、体感する・活動する・発信する “動” により、
ふるさとの自然・歴史・考古・民俗などの宝を守り、特色や価値・魅力を未来へ伝える

これまでの博物館の **イメージ** を郷土館が破る



参考 青森県教育施策の大綱の「青森県のめざす教育」

県民の多様な「学び」の充実として

- ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実
- 生涯学習・社会教育の充実

16. 整備場所候補地における検討について

整備場所候補地の**基本的な考え方（案）**は、以下のとおりとし、この基本的な考え方を具体化する整備場所として望ましい要素・条件を検討していただきます。

- ・ 洪水、土砂災害、津波等の災害リスクが低い場所
- ・ “県民”が日常的に行きやすい場所
- ・ “県外からの観光客”が訪れやすい場所

17. 基礎データ①

1 県内市町村別人口及び地域別人口（R7.2月時点）

	市町村	人口	左記市を含む地域別	
1	青森市	259,295	277,241	東青
2	八戸市	212,239	269,152	三八
3	弘前市	158,954	247,296	中南
4	十和田市	57,187	182,136	上北
5	むつ市	49,471	61,851	下北

2 観光入込客数（R5）

	市町村	観光入込客数	主な観光地点
1	青森市	5,800,191	道の駅なみおかアップルヒル、青森県観光物産館アスパム
2	八戸市	5,611,849	八食センター、こどもの国
3	弘前市	3,691,900	弘前市立観光館、弘前城本丸・北の郭
4	十和田市	2,883,593	奥入瀬・十和田湖、道の駅とわだ
5	つがる市	1,065,763	つがる市農産物直売所、高山稻荷神社

17. 基礎データ②

3 県内における駅の設置数

	市町村	駅の設置数
1	青森市	20
2	西津軽郡深浦町	18
3	弘前市	17
4	八戸市	13
5	五所川原市	10

4 新幹線停車駅及びその利用者数 (JR東日本公表 各駅の乗車人員 2023年度)

	市町村	駅名	1日当たりの利用者数
1	青森市	新青森駅	4,636人
2	八戸市	八戸駅	3,202人
3	上北郡七戸町	七戸十和田駅	685人

17. 基礎データ③

5 空港利用状況 (R5)

	市町村	空港名	利用者数	定期路線
1	青森市	青森空港	1, 169, 342人	東京線、札幌線、大阪線、名古屋線、神戸線、ソウル線、台北線
2	三沢市	三沢空港	324, 902人	東京線、札幌線、大阪線

6 クルーズ船寄港数

	市町村	空港名	2024年実績	2025年予定
1	青森市	青森港	36船	49船
2	八戸市	八戸港	3船	2船